

庁議の概要

開催日 平成 24 年 6 月 11 日（月）

◎項 目

- 1 8月の広報計画について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】
- 3 その他

◎内容

1 8月の広報計画について【総務部】

総務部から8月の広報計画（案）について説明を行った。

【概要】

・主要な広報内容

- さんSUN高知：産業振興計画、南海地震対策
- おはようこうち：リョーマの休日、産業振興計画、健康長寿県構想
- ラジオ番組：少子化対策、産業振興計画、公共交通利用促進、森林環境税
健康長寿県構想、南海地震対策
- 県民ニュース：産業振興計画、健康長寿県構想、南海地震対策

2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。

3 その他

○平成 23 年人口動態統計月報年計（概数）高知県の概数について【健康政策部・地域福祉部】 （健康政策部）

- ・乳児死亡数及び乳児死亡率は増加（平成 22 年度と比較）。

乳児死亡数 15 人→18 人

乳児死亡率 2.7 人（全国 6 位）→3.4 人（全国 4 位）

近年の本県における新生児死亡の多くが、救命困難な早産未熟児と先天異常によるもの。

現在、妊婦健康診査（年 14 回の無料化）及び受診勧奨を行っている。

- ・周産期死亡数及び周産期死亡率が大きく悪化（平成 22 年度と比較）。

周産期死亡数 19 人→30 人

周産期死亡率 3.4（全国 43 位）→5.7（全国 1 位）

妊娠満 22 周以後の死亡症例は原因や要因を特定することが困難な場合が多い。

引き続き、要因の分析と改善の方策を検討すると共に、定期的な健診を広報する。

また、高知医療センターの NICU（新生児集中治療室）の増床や香川小児病院（善通寺市）と連携したヘリコプターによる搬送や夜間の緊急搬送といった対応も視野に入れて対応する。

- ・がん、心疾患による死亡数、死亡率が増加（平成 22 年度と比較）。

死因別死亡者数（悪性新生物）2,590 人→2,682 人（全体の 27.1%）

死因別死亡率（悪性新生物）340.2（全国 6 位）→355.2（全国 3 位）

死因別死亡者数（心疾患）1,681人→1,695人（全体の17.1%）

死因別死亡率（心疾患）220.8（全国2位）→224.5（全国2位）

現在、がん検診、心疾患・脳血管疾患の特定健診の受診促進、生活習慣病予防の取り組みを行っている。

（知事）

- ・NICUの増床を出来るだけ早期に行っていただきたい。
- ・妊婦健康診査（年14回）の無料受診や、受診しないことのリスクについてしっかり広報していかなければならない。
- ・これらの数字を分析し、日本一の健康長寿県構想について具体的にどうするかを考えていかなければならない。

（地域福祉部）

- ・出生数は20歳から39歳までの各年齢層で減少しており、特に30歳から34歳までの層が大きく減少。各年で増減はあるが長期的に見て減少傾向にある。
平均初婚年齢、生涯未婚率ともに全国でみて高い状況。

平均初婚年齢

夫 30.5歳 全国13位（H22:30.5歳 15位）

妻 29.1歳 全国7位（H22:28.7歳 10位）

生涯未婚率

男性 22.1% 全国4位

女性 12.4% 全国6位

対策として、引き続き、子供を産み育てやすい環境づくりに向けて、未婚化晩婚化対策や、子育て支援の充実など、「結婚」、「妊娠～出産期」、「子育て期」といったライフステージに応じた少子化対策を積極的に推進する。

- ・自殺者数は昨年度より減少し196人。2年連続で200人を下回ったが、死亡率は26.0（人口10万対）であり、全国でみて高い水準である。自殺者数減少の要因として、自殺予防センターを中心とした関係機関のネットワークの構築による相談支援体制の強化が挙げられる。今後も、「いのちの電話の24時間化に向けた支援」をはじめ、悩みを抱えた方を相談窓口につなげる取り組みやうつ病対策の強化を行っていく。